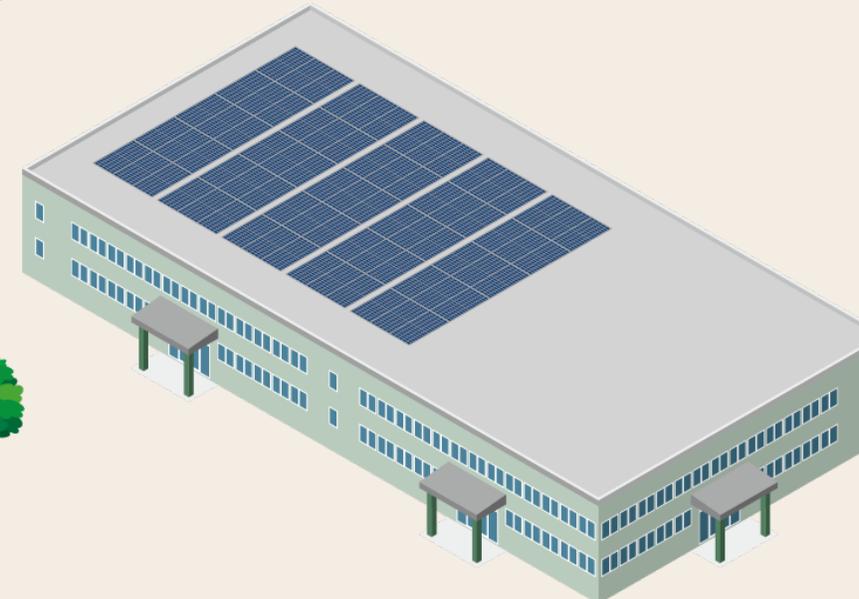
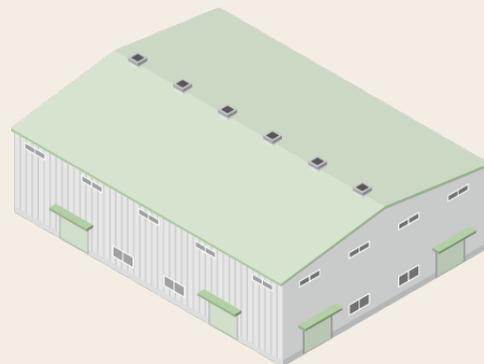
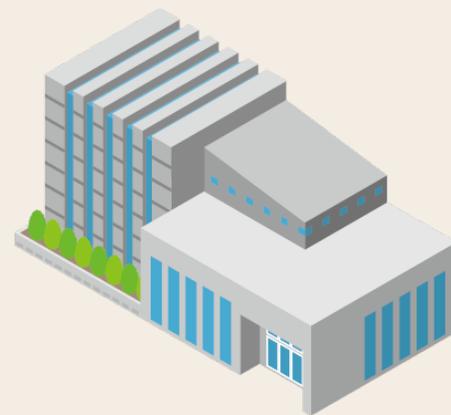
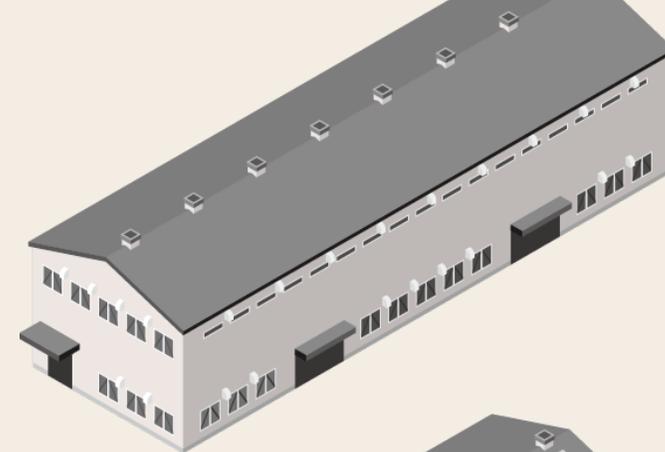




工場の現場でも Slack が大活躍!

130 年超 老舗ものづくり企業の Slack 活用変革ジャーニー



目次

数字で見る！老舗ベンチャー KAKUICHI の仕事の流儀	3
KAKUICHI Slack 活用変革ジャーニー MAP	4
【改革その1】社長室 - Slack 導入ビジョン	5
【改革その2】戦略デザイン室	6
- 導入のポイント「楽しい」を醸成するには？	
- 定着化のコツ①：投稿を増やすためのアイデアとは？	
- 定着化のコツ②：賞与の評価軸に Slack の活用度合いを連動	
【改革その3】工場現場	9
- デスクワークだけじゃない工場でも Slack が大活躍	
- 紙で申請していた修理依頼のデジタル化	
- リアルタイムな資材発注や計画の変更通知を Slack + アプリ連携で実現	
【改革その4】DX 推進部	2
- 「タスクチーム」制度で 現場視点の課題を次々解決	
- カクイチ変革のハブは Slack！	
カクイチに学ぶ金言	14
Slack の紹介	15



数字で見る！ 老舗ベンチャー KAKUICHI の仕事の流儀

新しいアイデアを次々と。
社会の課題を解決し、未来を創造し続ける

KAKUICHI カルチャー

- 明治 19 年（1886 年）創業、137 年の歴史を誇る老舗企業
- 樹脂ホース事業：日米生産量 No.1
- ガレージ倉庫事業：販売実績 109,300 棟
- アクアソリューション事業：国際特許 19 項目
- MaaS 事業：1 度の充電で走行距離 100 km
- 健康開発事業：100% 天然無機素材
- ウォーターライフクリエーション事業：超軟水高度 12
- 太陽光パートナー事業：17,300 件 / 136 メガワット
- ホテル事業：アジア第 2 位



DX インフラとなったのは Slack

数年前までは…

- × 顧客とのやりとりは電話・FAX、WiFi もないようなアナログ環境
- × 定量的データも提示部署間の交流がなく社員は指示待ち体質に
- × 社員から必要な情報が得にくく、意思決定が遅れがちに

結果：売上減少

そこで！「情報の民主化」を目指し
カクイチ DX を実践！

- 意思決定スピードは 4 倍に加速
- 自分たちで考え、全社員が DX を推進できる体質に
- 顧客の課題解決のスピードが飛躍的に向上



田中 離有 氏
株式会社カクイチ
代表取締役



KAKUICHI

Slack 活用変革ジャーニー MAP

新しいアイデアを次々と。
社会の課題を解決し、未来を創造し続ける



社長室
Slack 導入ビジョン

- 目指した組織のあり方とは？
- 情報改革断行の3つの狙い



戦略デザイン室 - 導入のコツ
まずは「楽しい」を醸成する！

- Slack を社内メディア化が実現
- ホウレンソウ→ザッソウに
- 集合知の威力



戦略デザイン室 - 定着化のコツ
Slack 定着化のポイント

- 独自リアク字を作成
- 社長賞・裏社長賞を設定
- 賞与の評価に Slack 活用を連動



工場現場
工場での Slack を活用した DX

- 適材適所の掲示板活用
- スプレッドシート+ Slack 連携の技



DX 推進室
現場が考えて推進する DX

- タスクチームで課題を解決
- 自分でつくって自分で直す



改革その① 社長室 - Slack 導入ビジョン

目指したのは
「自分たちで考えて能動的に行動できる組織」



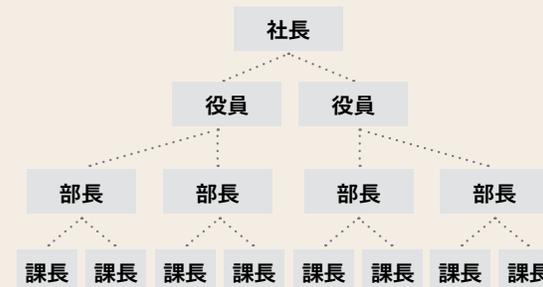
田中 離有 氏
株式会社カクイチ
代表取締役社長

まずはやってみる！

- 全社員に Slack を導入
- 情報改革を断行！！

私が社長になった際に危機感を持ったことは、とにかく現場の状況が見えないこと。現場から上層部への報告もリアルタイムではなく、社員間の情報共有もない状況。顧客とのやり取りは主に電話と FAX、当然受注も紙ベースでした。判断できる情報がないため、組織は硬直し、指示待ちの体制に陥っていたのです。

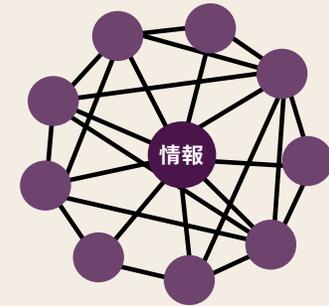
「老舗ベンチャー」を標榜する上で、これでは新しいアイデアは生まれません。そこで、従業員が自ら考えて機動的に行動できる組織を目指しました。そのためにはコミュニケーション方法をドラスティックに変える必要がありました。相互につながり創発型の組織をつくるために Slack を導入したのです。



機能別型

言っている事が
伝わらない
考えなくていい

命令型・軍隊組織



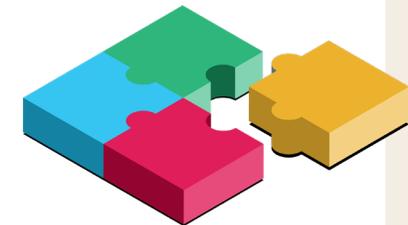
創発型

情報で人と人をつなぐ
遠心力で組織を動かす
考えさせる

創発型 (DACO) 組織

Slack 導入 3 つの狙い

- ① 現場に情報を与える
- ② 従業員ファースト (楽しくする)
- ③ 人と人をつなげる



改革その②

戦略デザイン室 - 導入のポイント「楽しい」を醸成するには？

コミュニケーションは
「ハウレンソウ」から「ザッソウ」へ



佐々木 真理 氏
株式会社カクイチ
戦略デザイン室

これまでのコミュニケーション

ハウレンソウ

- 報告は紙
- 連絡は電話や FAX
- 相談はタイムリーにできていない

変化

ザッソウ

「雑談」と「相談」で
タイムリーなコミュニケーション

Slack 導入以前のカクイチは、平均年齢 47 歳、個人メールアドレスがない、紙と FAX に埋もれた職場でした。社内コミュニケーションのお作法は、よくいわれる報告・連絡・相談の「ハウレンソウ」でした。ただし、報告を書くのに手間取り、連絡が遅く、相談もしにくい状況だったのです。

しかし、今は雑談・相談によりアジャイルに事を進める「ザッソウ」の時代。Slack の導入により、カクイチでも社員間のコミュニケーションは「ザッソウ」に変化をしています。ただ、この「雑談」もアイデアを否定することなく、心理的安全性を確保することが重要です。「意見が認められる」「失敗を許される」安心感があってこそ雑談から関係性が構築され、知恵が集まるしくみが構築できます。

Slack を社内メディアとしていかに根付かせるか！

導入のポイントは「楽しい」と思わせること

- ブログ感覚で何でも雑談を可能にする！
- 写真、動画をリンクしてインスタグラム風に？
- リアク字（リアクション絵文字）を活用して「いいね」の代わりに（反応があるから面白い）



楽しい 5

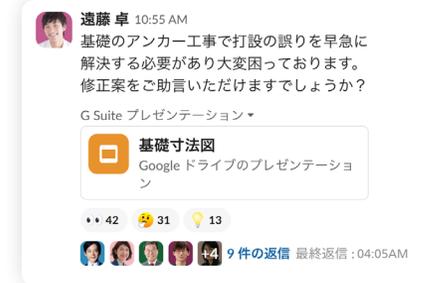


超いいね 8

拠点を超えた社員の知恵が Slack 上に集結！

朝 4 時、クレーム案件の相談も
始業前には解決！

ある日の早朝 4 時、ある営業担当者からお客様からのクレーム案件の相談が Slack 上に投稿されました。すると即座に拠点を問わず全国から 100 件以上のアドバイスが寄せられました。その結果、始業時間の前には問題が解決したのです。



改革その②

戦略デザイン室 - 定着化のコツ①：投稿を増やすためのアイデアとは？

定着化には、承認欲求を満たせるかどうかポイント！



鈴木 琢巳 氏
株式会社カクイチ
執行役員 戦略デザイン室

定着へのポイント

- 独自リアク字（リアクション絵文字）を作成
- 社長賞・裏社長賞を設定

カクイチでは多くのリアク字をオリジナルで作成していますが、中でも社長しか押せないリアク字は、社員の Slack の投稿を促進させています。社長独自のリアク字の効果は大きく、「社長が見てくれている」「反応してもらった!」など社員の Slack 活用への意欲を後押ししました。

また、「社長自らのつぶやきがバズる!」という現象も特徴的で、イスラエル出張をしていた社長の「イスラエルから愛を込めて」と題した投稿が大バズリしたこともあります。社長が進んで Slack 活用の意思表示を行うことで、「仕事の中での雑談なども気軽にポストをしてもいいんだ!」と、Slack 活用の流れが変わっていったのを実感しました。

カスタム「リアク字」で参加しやすい環境をつくる

カクイチでは 200 を超えるオリジナル「リアク字」を作成

業務

役員 2

配属 1

感情

もっかえ 5

休憩開始 12

勤怠管理

超いいね 26

ごめんなさい 4

社長しか押せない

👤 1

👤 1

社長必読 1

社長賞・裏社長賞を設定

カクイチでは、Slack 上にアップされたプロジェクトやアイデアに対して、社長賞・裏社長賞を毎月発表しています。社長賞は実際に結果が出たもの。裏社長賞はアイデアや発想の優れたものに Amazon ギフト券が贈呈されます。賞品が贈られることも魅力ですが、受賞が決まると全国から「おめでとう」の嵐がコメントされることもモチベーションを UP する要因となっています。



浅田 晶 10:55 AM

カクイチ FAQ ポータルが完成!

100 回以上の更新を経て、社内のあらゆるソースが集結しきつみなさんの「考える助け」になるはず。

社長Botと最高顧問Botもぜひ使ってみてください!

👍 23 ❤️ 18 🏆 15 🍌 16 🗣️ 1



改革その②

戦略デザイン室 - 定着化のコツ②：賞与の評価軸に Slack の活用度合いを連動

Slack の投稿数などを指標化し、賞与の評価項目に組み込む

カクイチの Slack 活用の本気度がうかがえるのが、賞与の評価項目に Slack 活用度合いを組み込んでいること。Slack を単なるコミュニケーションツールとしてではなく、業績に直結する情報改革の中核に位置づけています。そのために、Slack のスレッド数やリアクション数などを分析し、チームの評価項目の 1 つとして賞与に連動させました。

2024年度	賞与 査定係数	貢献度					お名前	投稿	返信	リアクション	画像	スコア	賞
		パートナー獲得	Slack連携点	社長賞	裏社長賞								
〇〇営業所	99	116 A	13000 B	1 B	5 A	 相楽賢治	18	97	1849	12	3027		
△△営業所	69	106 B	3500 C	0 C	2 B	 西野エミリ	74	57	1614	34	2779		
□□資格	89	75 C	19000 A	1 B	2 B	 宮本春香	52	142	1112	66	2725		
XX営業所	99	103 B	26000 A	1 B	9 A	 遠藤卓	31	45	1967	22	2666		

Slack の投稿数
送った返信数・リアクション数
もらった返信数・リアクション数など
定量的に分析

貢献度として、
賞与の評価項目に

チーム評価として
ボーナス+α が決まる

Slack は単なるコミュニケーションツールではなく組織全体も経営も変革する。だからこそ、評価基準と連動させるまで定着化を徹底させた方が良い。



Slack 活用の「影響レポート」を作成しています。スレッド数、返信数、文字数、リアクション数などを数値化してランキング。定量的に明確にすることが重要です。



改革その③

工場現場 - デスクワークだけじゃない、工場でも Slack が大活躍

情報連携が進み、伝達ミスなどが解消！



飯島 聡史 氏
カクイチ製作所
業務グループ マネージャー

- Slack を掲示板として活用し、情報共有！
- 社内帳票やデータのポータル「匠 Web」を構築し、Slack と連携して帳票などがワンクリックで Slack の掲示板に
- 紙ベースの修理依頼や在庫管理も Slack と連携しデジタル化

Slack とスマートフォン支給がきっかけでスタートした工場現場の DX。

始めはどんなことができるのか分かりませんでした。Slack を掲示板として活用することからスタートし、その後、PC を持たない工場職員のために、ポータルとなる「匠 Web」を構築。生産管理日報をはじめとした様々な社内帳票やデータを格納し、Slack と連携させることで、ワンクリックで帳票などが Slack の掲示板に上げられるようになりました。

さらにはスプレッドシートや QR コードなどと Slack を連携させることで、工場におけるミスの防止や生産性の向上に役立てることができました。

工場での Slack 活用①

掲示板としての徹底活用

工場では、3 交代制の現場などもあるため、交代の際の業務連絡や引き継ぎが非常に大切になります。

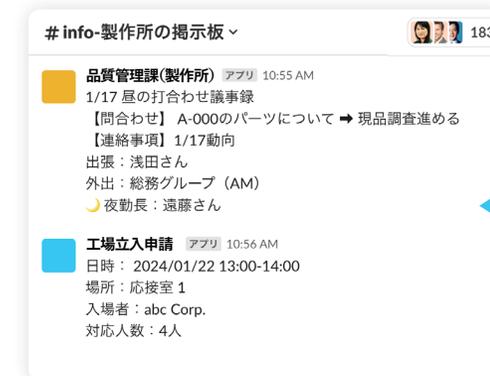
カクイチでは、Slack 上に専用チャンネルを作成し、全体への情報共有を徹底。ヌケモレのない効率的な情報共有を実現しています。

業務連絡用掲示板

「#group 製作所チャンネル」
・休みの人の連絡
・全体への連絡事項など

引き継ぎ専用掲示板

「#info- 製作所の掲示板」
・その日の伝達事項
・怪我など重大伝達



Slack の掲示板チャンネル活用で
ヌケモレのない情報共有

社内ポータルを作成し Slack と連携
ワンクリックで帳票などが Slack の掲示板に



改革その③

工場現場 - 紙で申請していた修理依頼のデジタル化

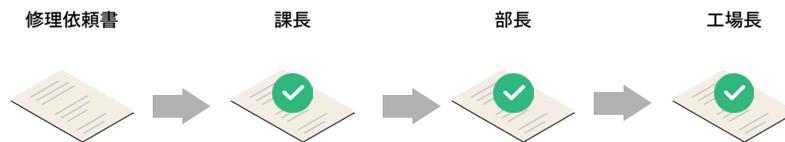
工場での Slack 活用②

「修理依頼」を迅速化

「#修理依頼チャンネル」とスプレッドシートの連携により、紙ベースの依頼作業がデジタルで完結。

圧倒的に承認時間を短縮し、作業の効率化を実現しました。

Slack 導入前は……



課題

- 紙の稟議のため、承認までに1週間はかかっていた
- 回覧途中で書類が埋もれてしまうことも
- 急ぎの場合は電話で依頼するため、履歴が確認できなくなっていた

Slack 導入後



解決!

- デジタル完結でスピーディな処理
- 埋もれてしまう心配はなし

さらに

1 対 多の情報共有になるため修理知識の均一化にも貢献



改革その③

工場現場 - リアルタイムな資材発注や計画の変更通知を Slack で実現

工場での Slack 活用③

カンバン方式の在庫管理に活用

しかし

- 記入漏れ / 間違いなどにより資材の欠品不足が発生し生産ラインを止めることも
- 業務担当者の負荷が大きかった

そこで!

Slack 導入後

在庫が減ったら資材の QR を
スマホで読み込み



読み込んだ内容を
入力送信



Slack に QR コードが
自動転送



QR コードリーダーで読み取り
そのまま発注完了

資材発注は迅速、ミスなし!

工場での Slack 活用④

営業部門と工場の情報連携により
生産計画の変更もスピーディに

お客様から営業担当者に入る生産計画の変更情報なども、以前は工場の生産現場にリアルタイムで届かない課題もありました。そこでここでもスプレッドシートと Slack の連携により、タイムラグのないリアルタイムな生産計画の把握を実現しています。

チームの感謝の表明 アプリ 10:55 AM

💡 生産計画が変更されました

【編上スパイラル】

30日

新規追加 F000-15MM 60M : 100本

31日

新規追加 F001-15MM 2M : 200本

生産計画の変更数値をスプレッドシートに記入すると、変更通知が Slack に自動通知。課長にメンションで通知され、すぐに人員確保など変更指示が行えるように。



改革その④

DX 推進部 - 「タスクチーム」制度で現場視点の課題を次々解決!

1 時間の作業が 2 分に大幅短縮!
Slack がフレックス制度導入の後押しに



奥田 はと枝 氏
カクイチ製作所
執行役員 業務変革推進部
DX 推進部長

自分でつくって自分で直せる
タスクチーム実践例!

誰もが使えるツールを使って、みんなで DX。
そのハブになるのが、Slack です。

カクイチでは、組織横断の 5 人が選ばれ 3 か月間のタスクチームを組織します。ここでは DX への取り組みが課題とされ、次々と「いまある課題」を解決しています。しかも、課題を解決するシステムは、Slack を中心に Google App Script などを活用した自前構築システム。これまでタスクチームがどのような DX を実現してきたのか、具体例をご紹介します。

「残業パン」タスクチームの成果

【課題】 残業時のパンの買い出しが、口頭で御用聞きのアナログ管理。ばらばらに依頼が来る状況だった。

そこで!

- Google Apps Script で自前システムを構築
- QR コード読み取りの Google フォーム で注文受付
 - Google フォーム → Slack に注文数が自動連絡で入る形に

スマホで QR 読み込み フォームが起動 回答がシートに飛ぶ GAS を組む Slack の専用チャンネルへ



1 時間の作業 → わずか 2 分に!

Slack での勤怠管理からフレックス制度導入へ!

【課題】 長時間労働を打開したいが、勤怠が紙のアナログ管理で正確な把握ができなかった。

そこで!

- Slack で勤怠管理
- 定刻にリマインダーで Slack に連絡。スタンプを押すだけで時刻がスプレッドシートに自動入力
- スプレッドシートをアプリに変えて、勤怠管理システムを整備
- フレックス制度導入!



改革その④

DX 推進部 - カクイチ変革のハブは Slack

DX 施策のハブ

社内メディアとして Slack を活用

「楽しく」ブログ感覚で雑談を可能にすることで、情報共有とコラボレーションが活発な社内環境を構築。
→ だから、「アイデア」も「集合知」も生まれます！



生まれたアイデアは すぐさまシステムに反映

Slack をハブとして RPA、QR、Google Apps Script などをフル活用。内製化により、どんどん現場の課題を DX で解決。



**カクイチでは Slack を中心に
社員 1 人ひとりが自分たちで考え、全社員が DX を推進できる体質になりました！**

意思決定の迅速化、顧客課題の解決

につながります！



カクイチに学ぶ金言



Slackにより、社員自らが情報を発信するようになりました。現場の情報が見えるため、意思決定スピードは4倍にまで大きく加速しています。



リアルタイム、多様性、即行動、そして楽しい！自由な Slack で社内の文化が変わりました。100 拠点から一気に知恵が集中する様は圧巻です。



Slack を定着させるには「承認欲求」を満たすことが効果的。社長自ら、返信をくれた社員 1 人ひとりにリアクションしたことをきっかけに、社員の 7 割ぐらいから返信やフィードバックが寄せられるようになりました。

KAKUICHI



個人メールすらなかった私たちでも、今は DX をしています。例えば、1 週間かかっていた申請稟議が今では 1 日で申請できるように。生産性は確実に向上しました。



組織横断、5 人制、3 か月のタスクチームによって、次々と社員自らの手で DX を進めています。コストをかけずにここまでできるのは Slack があってこそです。





Slack について

私たちのミッションは、皆さまのビジネスライフをよりシンプルに、より快適に、より有意義にすることです。Slack はユーザー企業の皆さまにとってのプロダクティビティプラットフォームとなり、誰もがノーコードで自動化を活用し、検索やナレッジ共有をシームレスに行い、チームのつながりやエンゲージメントを高められるようサポートします。また Slack は Salesforce グループの一員として Salesforce Customer 360 と深く連携し、営業部門、サービス部門、マーケティング部門の生産性の大幅向上に貢献します。詳しくは slack.com/intl/ja-jp を参照するか、[@SlackHQ](https://twitter.com/SlackHQ) でご連絡ください。

本資料は情報提供のみを目的としたものであり、拘束力のある文書ではありません。購入の決定に際して本内容に依拠しないでください。製品や機能の開発、リリース、タイミングは Slack の裁量により変更される場合があります。